



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)LBiz馬車道 新築工事	階数	地上9F
建設地	中区南仲通二丁目25-2、弁天通二丁目29-7、29-10	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年1月14日
敷地面積	298 m <sup>2</sup>	作成者	池田建設株式会社 臼井 悟
建築面積	220 m <sup>2</sup>	確認日	2022年1月14日
延床面積	1,833 m <sup>2</sup>	確認者	池田建設株式会社 臼井 悟

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 87% (119 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 87% (119 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 87% (119 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.3

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部の遮音等級がT-2以上である。 全般照明方式を採用し、照度が500lx以上1,000lx未満である。 内装仕上材は、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理や、仕上材の耐用年数に配慮した計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 夜間照明の設置、防犯カメラの設置などを行い、防犯性に配慮している。 排熱を伴う設備の設置位置に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> [BP][BPIm] = 0.87 [BE][BEIm] = 0.82	<b>LR2 資源・マテリアル</b> スケルトンの計画であり、またOAフロアを採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出率87% 「LR1エネルギー」のスコア: 3.0 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の一部、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



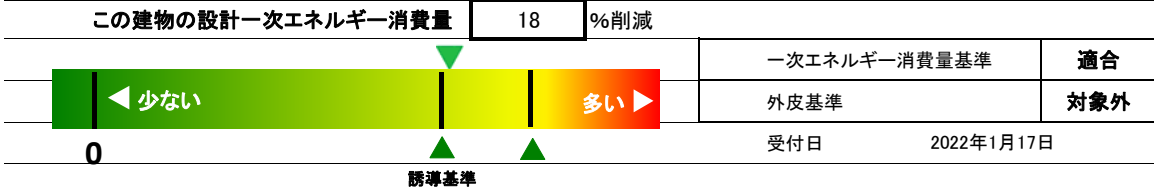
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)L.Biz馬車道 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

[BPI][BPIm] = 0.87

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

全般照明方式を採用し、照度が500lx以上1,000lx未満である。

内装仕上材は、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

主要な床材にタイルカーペット、壁・天井材にビニルクロス(PB下地)を使用している。

空調・給排水配管の更新必要間隔について、主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
(仮称)L.Biz馬車道 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>					-		-			<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.4</b>	0.15	-	-			<b>3.4</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				<b>4.2</b>	0.40	-	-			-
1		開口部遮音性能		5.0	0.60	-	-			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-	-			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-			-
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	-	-			<b>2.6</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.24	-	-			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-			-
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.36	-	-			-
1		昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.55	-	-			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.45	-	-			-
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.28	-	-			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.3 照度				<b>4.0</b>	0.14	-	-			-
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.23	-	-			-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	-	-			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気環境	4.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				<b>2.6</b>	0.30	-	-			-
1		換気量	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.35	-	-			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気環境	4.0	0.31	-	-			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	0.35	-	-			-
4.3 運用管理				<b>2.0</b>	0.20	-	-			-
1		CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	0.50	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.3</b>	0.40	-	-			<b>2.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.0</b>	0.40	-	-			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.31	-	-			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.31	-	-			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.39	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>2.0</b>	0.30	-	-			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.35	-	-			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.31	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.35	-	-			-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-			<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり				<b>2.4</b>	0.30	-	-			-
1		階高のゆとり		2.0	0.60	-	-			-
2		空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)L.Biz馬車道 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-			1.3	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	10生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	19まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-			1.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	20地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	14敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			2.9	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			3.0	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	1建物の熱負荷抑制	4.3	0.20	-	-			4.3
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	2自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	2.9	0.50	-	-			2.9
4	効率的運用				2.0	0.20	-	-			2.0
	集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	4効率的運用	1.0	0.50	-	-			-
	集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			2.7	
1	水資源保護				2.2	0.20	-	-			2.2
1.1	節水				1.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-			2.8
2.1	材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1	消火剤				-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3	冷媒				3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.0	
1	地球温暖化への配慮				3.5	0.33	-	-			3.5
2	地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-			2.4
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2	污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1	騒音				3.0	1.00	-	-			-
2	振動				-	-	-	-			-
3	悪臭				-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制				3.0	-	-	-			-
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制				4.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				4.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>											
<b>&lt;事務用途&gt;</b>											
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	13知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-			-	
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>											
<b>健康と安心</b>											
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	6健康対策	-	-	-			-	
2	適切な換気計画		健康・安心	6健康対策	-	-	-			-	
3	結露・カビ対策		健康・安心	6健康対策	-	-	-			-	
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	7防犯対策	-	-	-			-	